

項 目	山菜採りなどによる遭難が続いています。 ～注意喚起の報道をお願いします～								
配 付 資 料									
内 容	<p>道内では、5月に入り、山菜採りによる遭難が続発しており、4月以降6名が死亡するとともに、1名が行方不明となっております。</p> <p>また、7月から8月の夏山登山では、毎年30件前後の遭難が発生し、遭難者は60代以上の方が4割を占めています。</p> <p>1 山菜採り遭難の防止について</p> <p>(1) 令和2年度山菜採り遭難発生状況(5月20日現在)</p> <table border="1" data-bbox="486 667 1029 810"> <thead> <tr> <th>発生件数</th> <th>遭難者数</th> <th>死者</th> <th>行方不明者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20件</td> <td>22名</td> <td>6名</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※例年、遭難件数及び遭難者数の8割強が4～6月に集中!</p> <p>(2) 注意喚起のお願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 遭難防止三箇条 「複数で入山」「目立つ服装で」「無理をしない」 ○ 山菜採り入山者の心得として、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族や知人に、行き先と帰宅時間を告げる。 ・ 事前に天候を確認し、天候の悪い時は入山しない。 ・ 防寒着、食料、飲料水、携帯電話、鈴、ホイッスル等を携行する。 ○ ホイッスルは、自分の存在を周囲に知らせることができるので、入山時に必ず携行をお願いしたい。 <p>2 山岳遭難の防止について</p> <p>夏山シーズンの山岳遭難の原因は、「脱水症、けいれん、低体温などの体調に関するもの」が38%と最も多く、「転倒」が22%、「道迷い」18%と続き、上位3つで約8割を占めています。</p> <p>このため、次の点に留意した安全な登山の啓発をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の体力、技術に合った山に登る。 ・ 余裕を持った計画を立てる。 ・ 通信手段、装備を万全に。 ・ 登山計画書は、家族や職場などの他に警察署などにも提出する。 登山計画書は、道警ホームページからの提出も可能です。 	発生件数	遭難者数	死者	行方不明者	20件	22名	6名	1名
発生件数	遭難者数	死者	行方不明者						
20件	22名	6名	1名						
報 道 (取 材) に 当 た っ て の お 願 い	山菜採りでの高齢者の遭難が多発しています。報道各社の皆様には、遭難防止に関する注意喚起の報道をお願いいたします。								
他 の ク ラ ブ と の 関 係	道政記者クラブ及び各振興局記者クラブで配布								
担 当 (連 絡 先)	<p>総務部危機対策局危機対策課 担当者：千葉 TEL:011-204-5014 内 線:22-556</p> <p>オホーツク総合振興局地域創生部地域政策課 担当者：荒井 TEL:0152-41-0625 内 線:2191</p> 								